

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～南花田		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年9月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものニーズや保護者様のニーズを話し合い、支援にいかせているところ。顧問である、言語聴覚士や理学療法士等、専門職を含め、運動プログラムや生活プログラムが固定化しないように見直し、全職員で、空き時間を利用して内容を考え、共有しています。	感覚統合をベースとした運動プログラムではお子様の特性や性格などにも配慮し、子供同士で意見を出し合ったり、協力できるようにプログラムの組み立てをしています。	より専門的な支援ができるように、専門職会議や研修会を企画したり参加するように努め、職員全員で共有していきます。
2	朝礼でその日に来所する子どもについて話し合ったり、終礼ではその日の子供の様子を振り返り、次に通所する時に対応できるようにしている。	自由時間は子どもたちが楽しく、発散できるような遊びを考え、職員やお友達とコミュニケーションをとれるように工夫しています。また、お子様に合わせた内容のプログラムを提供する時間を設けています。利用児の課題や強みに合わせてその都度変えながらすすめています。また、利用日の様子を保護者様に丁寧に伝えるようにしています。	サービス担当者会議には必ず参加していき、事業所内では支援会議やケース会議を充実させ、他事業所との連携をしています。
3	提供記録を専用アプリで報告させていただくことで普段の活動の様子を毎回写真で見ていただくことができるようになりました。	活動の様子がわかるように写真を添付してその時の様子もわかりやすく報告させていただいています。	笑みりい～の他店舗との合同会議を開き、教材や物品の貸し借りをを行い、多様に対応できるように支援の幅を拡げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等の内容は周知できているが、お子様の安全確保についての保護者様への周知がまだまだ十分ではないと思います。	避難経路の確認は避難訓練を実施し経路の確認も行なっているが実際に災害が起きた場合の送迎の確認や利用時に災害が起きた場合の避難所を保護者様に周知できていない。	周知できるように、お手紙などでお知らせしていく。
2	空いた時間に研修することができるようになったが、外部の研修への参加の機会が取れないことが多い。	事業所全体で研修の機会を作っているが、外部の研修へは日程の調整が難しく、一部の職員しか受ける機会がなかなかとれない。	外部の研修に職員が積極的に参加できるように職員の体制を調整していく。
3	小学校や地域やの子どもたちとの活動をする機会が持ちにくい。	プログラムの時間が決まっていて調整が難しい。	引き続き、地域の子どもやきょうだい児も一緒に参加できるようなイベントを考えていきます。サービス担当者会議への参加は必ずしていき、交流していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動発達支援スタジオ笑みりい～南花田7

公表日 令和7年10月30日

利用児童数 51名

回収数 37名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35		1	1	実際に活動している様子を見ていないので分かりません。 人数に対しては少し狭いと思います。	お子様同士がぶつからないように、チーム分けをしたり、サーキットは時計回りで動くようにして、安全に運動していただいています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	2		1	しっかりと安全に配慮してくれています。	職員配置については規定を満たした運営に取り組んでおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	2		1		始めの会で何をするか視覚支援もおこない、空間をわかりやすく色分けしてテーブルをして子どもたちがわかりやすく見通しを立てれるようにしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36			1		プログラム終了ごとに床の消毒や換気など、活動しやすい空間づくりを意識しております	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1			特性に対応した支援をしていただいています。 子供のつまづきや困ったことにその場で対応していただきありがたいです。 失敗してももう一回と次成功して喜んで子供たちを見てとても嬉しいです	職員の専門性を高めるため、定期的に研修などを行い、安定した支援ができるよう努めております。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37					「脳と体の統合」を目的とした専門的な運動プログラム、「生活能力向上」を目的とした生活プログラム、それぞれのお困りごとに応じた課題別プログラムを一人一人のお子様をみて提供しています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37				個別支援計画を細かくたてていただき、さらにその時のお困りごとに対応していただきありがとうございます	お子様や保護者様のニーズをくみ取り計画書に反映できるよう努めております。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34				3		項目ごとに内容に沿った計画書を作成させていただいており、お子様1人1人にしっかりと関わらせていただいています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37						プログラムが固定化しないよう職員間でアイデアを出し合い、笑みりいへの他事業所とも共有し、物品の貸し借り等しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	2				PTの先生がいるので、その子に合った計画を立てていただいています。 いろんな体の使い方や楽しい取り組みをしてくれて、凄いい！とかんどうしております	プログラムが固定化しないよう職員間でアイデアを出し合い、笑みりいへの他事業所とも共有し、物品の貸し借り等もしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	7	6	17		必要と思わない	必要に応じて、利用者様の希望があれば、交流する調整していきたいと考えています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37						契約時以外にもご不明な点がございましたら、その都度対応させていただきます。いつでもお声掛けください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37						丁寧な説明を心がけております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	5			9		事業所内ではペアレントトレーニングは実施していませんが、外部での研修のお知らせは保護者様にLINEで伝えております。職員一人ひとり、お子様や家族様に寄り添った対応ができるようにいつも話し合っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	1				お迎えの際に、健康を確認いただき、送りの際に、その日の様子を教えてください。 話を聞いてくださり、すぐに対応してくださるので嬉しいです	LINEや電話、送迎時や連絡ノート、連絡アプリでのやり取りの中で、お子様の様子を共有させていただいております

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1		定期的に面談を設けていただいております。しっかりと時間を取って、支援計画を説明してまいります。	半年に1回の個別面談や必要に応じてお話をさせていただき、発達状況や健康状態などその都度確認させていただき支援に繋げてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	3		成長を報告していただき、こちらからも成長を報告し、一緒に喜んでいただいております。	お子様1人1人の特性や課題を理解し、お子様や保護者様に寄り添えるよう努めております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	6	2	7	交流会を開いてくださったお陰で、保護者どうしなにかよくなり情報交換等できて、また楽しい時間を過ごしております。	年に2回のペースで保護者会を開催させていただき予定。保護者様同士が連携できる場を設けていけるよう努め、イベントを開催する時はきょうだい児の交流もできるようにしていきたいと思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	2		1	心配ごとがあつて悩んでいたとき、親身に聞いて下さり、サポート体制を検討してくれました。心救われ感謝しています。	お子様や保護者様からお話をいただいた場合は、迅速な対応を心がけておりますが、至らない場合もございますので、その時はいつでもお声掛けください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1			連絡すると速やかにお返事をいただけます。	お子様にはわかりやすく、端的に声掛けをしています。保護者様へはlineや電話で迅速に説明や情報共有を心がけております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34			3	通所日事に、活動内容と写真で報告してまいります。とても分かりやすくありがたいですが、先生方の負担が大きく心配しています。	ご意見いただきありがとうございます。SNSの発信ではモザイク処理をして個人を特定できないように掲載させていただいております。活動報告は引き続き連絡アプリで写真やその時の様子も報告させていただきます。保護者様が見ていただいでより分かりやすくしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36			1		個人情報の取り扱いには十分注意して、対応させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2		6		ご契約時に対応の説明させていただいておりますが、マニュアルなど、いつでも閲覧できますのでお申し付けくださいませ。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36			1	訓練日のお知らせをもらっています。	年に2回、訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34			3		使っている運動道具はその都度点検し、安全計画については全職員は共有して毎月点検しているが、保護者様への周知は細かくはできていないので、周知するようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2		6	事故等が今までにないのでわかりません。	事故などが発生しないよう、職員1人1人十分に気を付けておりますが、今後、万が一、そのようなことが発生した場合は、迅速に対応ができるよう努めて参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36	1			お迎えに来てくれると、嬉しそうに手を振って車に乗り込んで行きます。	運動でしっかり発散し、生活プログラムでは、お子様の好きや得意を見つけていけるように支援していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	3			先生方が、明るくて元気なので、大好きで、通所日は、玄関でお迎えを楽しみに待っています。	子供たちがわくわくするような、遊びや、チャレンジしてみようと思える関りをしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37				親身に対応して下さい、とても感謝しています。いつも本当にありがとうございます。いつも本当ありがとうございます。疲弊して困ってる時とか、先生方がお声をかけてくださり話を聞いてくださって心救われます。子供もめっちゃ今先生とのやり取りが面白いようで帰宅後思い出して凄く笑っております。	いつも笑みい〜南花田の活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。これからも、楽しく子どもたちの学びになるような、プログラムやイベントも企画し、満足していただけるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動発達支援スタジオ笑みりい～南花田				公表日	令和7年 10月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	運動サーキットをお子様全員で回るようになったので全体を見れるようにして、お様が運動する時間も十分な運動量で設定しています。	人数対しては少し狭いように思うところのご意見がありましたので引き続き自由時間も含めて運動量の確保という様な種目を提供して満足していただけるようにしていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適切に職員配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		はじめの会から、終わりの会迄、何をするか示したり、色分けしたテーブルで、視覚的に待つところなど分かりやすくしています。	2階のの教室に移動する時は必ず職員が前後ろについて手すりをもっていただき安全に移動ができるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		利用クラスごとに清掃、消毒を行っています。	洗面台も清潔に保つように周知していきます。夏になると蟻が上がってきていることもあったので、駆除しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		2階の静かな教室でマットを置いてクールダウンして落ち着いて活動ができるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日、利用しているお子さんの活動記録を各職員が記載し、モニタリングに反映させて、次の個別支援計画書にも反映して実施できるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年度末にアンケートに答えていただき、結果を職員全体で振り返り業務の改善を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼、終礼やケース会議、支援会議、プログラムのすすめ方など職員で話をする機会を多く取りようにはしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			現時点では第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		新しく入職した職員には療育にあたっての研修を施設内でして、外部の研修も案内があれば受講するようにはしています。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		2週間ごとにプログラムの変更はしています。毎月何をするか支援プログラムは作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		保護者面談、普段から利用児のニーズを聞き取り個別支援計画の反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画の内容が反映されるように、毎日の活動記録を記入するようにはしています。子どもの課題やニーズ、保護者様のニーズが分かるようにしていき、また、朝礼や終礼、支援会議で共通理解をしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画書を全職員と共有し支援をおこなっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		顧問で入っているPTやSTの先生や在籍する専門職で会議をして内容を全体で共有し、より専門的な支援ができるように努めています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		それぞれのお子様の発達年齢や今後の成長について保護者様と話し合い、必要な支援内容を設定しています。	職員の意見がより反映されるように、ケース会議を充実しています。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		空いた時間で決めてチームで考えてすすめています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		プログラムが固定化されないよう毎月考えて決めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		職員間で利用児の状況を共有し、個別活動と集団活動を組み合わせ計画の作成をして、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼でその日の支援内容や注意点、役割分担について確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日終礼時に、支援の振り返りを行い共有し、朝礼でも同じく振り返って点をどうだったか伝え合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の支援の様子を個別支援計画に照らし合わせ活動記録の中に記載し、検証して改善するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		少なくとも6か月に一度見直しています。必要に応じて見直しをして計画の変更もしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		4つの基本活動を意識したプログラムで支援を心がけています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子ども会議を定期的に開催し、子ども同士で話し合い自己決定できる機会を設けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が中心に参加しているが必要に応じて指導員も参加することがあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて利用時が通う、保育園やこども園、幼稚園に保護者様に承諾していただき連携することがあります。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校の行事予定、子どもの下校時刻の確認はなど保護者様からお知らせいただくことがほとんどですが、送迎時の対応、トラブル発生時の連絡を取り合っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学直前には情報共有する機会があります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			障害福祉サービスへの連携をする機会がなかなかないので後は情報収集していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		スーパーバイズの助言を受け、工夫して研修を受けるように心がけています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		今年は食フェスに参加を企画し、地域の子どもとの交流をしています。	今後も地域の方々や子どもとの交流を継続していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		療育内容は自立支援を意識して行っている。	今のところ参加へできていないが活動内容を知っていくことから取り組みたいとおもいます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡ノートで保護者様からご家庭での様子を把握し、利用時の様子を記載して伝え、保護者様に直接お話して共通理解をできるようにしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		外部研修の案内で保護者向けの研修の案内があればlineで一斉に送り、研修等の呼びかけをしています。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		体験見学や契約にお越しいただいたときに丁寧にお伝えするようにしています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者面談を行い保護者様のご希望をお聞きし、お子様からは支援中にニーズを聞き取りできるお子様には聞いて反映している。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画内容を説明し、同意を得た上で署名していただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的に面談し保護者からの相談に対して助言や支援を行うように心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		保護者交流会は年2回企画しています。イベントプログラムにはきょうだい児も参加できるような企画も立て呼びかけています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や申し入れがあった場合は職員全体で共有し迅速に対応するようにしている。	配慮が足りない場合もあるので聞き取りをしっかりと、対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		HPやSNSで活動報告をしています。Lineで活動の様子を保護者様に送り確認していただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いは気を付けています。個人を特定されないようにしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		わかりやすい表現で伝えることや視覚支援も行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		今年は事業所行事にはご招待できなかったのですが、地域で開いているお店に出向き子どもたちがお手紙を書いて地域の方と交流しました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアル等を策定し定期的に訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定して、災害時の物品を購入したり、定期的に避難、救出の訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		体験時や契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		普段はおやつは提供していませんがイベントなどでおやつを提供する場合は保護者様に確認して提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し月一回安全点検を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時の重要事項で説明させていただいています。	災害時の緊急連絡先の確認や来所時に災害が発生した場合の避難訓練など保護者様に周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットの事例が発生したときは、終礼や朝礼で周知し、報告書を作成をして内容を職員全員で確認してサインしてもらっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に虐待防止の研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			現時点で身体拘束をしないといけない児童はいません。	